

# ドル/円相場のトレード戦略

## ■ 中長期展望

2017年のドル/円相場に関しては、堅調な足取りを続ける米国経済を前提に、FRBによる3度の利上げ予想を背景にしてドルが底堅い動きとなるシナリオをメインに考えてきました。

### 【ドル/円 週足】



さらに、トランプ大統領が大統領選中に主張していた経済政策が実施されれば、米国経済成長は一段の加速となり、ドルの上値余地も大きく広がる可能性を考えてきました。

ドルの下値に関しては、当面110円、これを割れても108円水準までであり、110円以下は長くは続かないとの見方をしてきました。

しかし、4月17日にドル/円は108円13銭まで下落しました。

急速に円高に振れた要因は二つあり、ひとつは米国のシリア攻撃に端を発した地政学リスクの高まりであり北朝鮮に対する米国の強硬な態度が挙げられます。二つ目は、再びトランプ大統領が「ドルは高すぎる」と為替市場に直接言及してきたことです。

この二つにより、市場の見方は大きく転換してしまい、ドル買いポジションを調整する動きに繋がりました。

しかし、北朝鮮問題は長期化の様相となり、初めての日米経済対話を無難に乗り切ったことで、市場の目は米国の良好な経済指標やトランプ政権の税制改革への期待へと移り110円を回復する動きとなりました。

さらに、108円割れを回避できたことで、ドルの底打ち感が出て、東京がゴールデンウィークのなか113円まで上昇しました。

## ドル/円相場のトレード戦略

堅調な経済指標を受けて米国の6月利上げ期待が高まってきたことなどからドルは緩やかながら底堅く推移することが期待されます。

ただし、北朝鮮リスクは燻り続けており、115円水準を一気に抜けていくには新たな材料が必要でしょう。

### ■ 短期展望

先週は、日本が大型連休の中、米連邦予算の成立などを好感してリスクオンによるドルの買い戻しが進み、一時3月17日以来となる113円04銭まで上昇しました。

週末の米雇用統計も非農業部門雇用者数が+21.1万人と予想の+19万人を上回り、失業率は前回の4.5%から4.4%へ一段と低下し、6月の利上げの可能性が大きく高まり、高値圏で週を越えています。

今週も、ドルが底堅く推移する可能性が高く、下値は112円程度が堅くなりそうです。北朝鮮リスクがやや遠のき、6月利上げを織り込むことでドル買いが出やすい環境が続くといえます。

ただし、週末にG7を控えており、米国サイドから日本の貿易黒字削減を目指した圧力がかかる懸念があることが、ドルの上値を抑える要因となり、115円を試す勢いは出てこないものと思われます。